

# 令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

## 図工

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が感じたことを表現しようと意欲をもち、取り組んでいる児童が多い。</li> <li>○2学期以降は版画等、製作過程を把握し段階を追って活動する題材がある。落ち着いて話を聞き、集中してつくる態度の育成が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図工の時間は「自分はどうしてみたい」という気持ちが大切であることを折に触れ伝える。（前時の振り返りの際・まとめの際など）</li> <li>○手順を視覚的に分かりやすく伝えるよう板書や掲示等を工夫する。題材によっては、個人の活動に集中できるように図工室内の環境を整える。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に取り組んでいるが、継続して根気よくつくりあげる経験の積み重ねが必要。</li> <li>○決まった児童間での交流に偏りがちな児童もいる。つくりながら考え、つくりかえる活動の楽しさを感じたり、認め合う体験を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の発想をふくらませる教師の働きかけを工夫する（発問・鑑賞・フィードバック）。</li> <li>○かかわり合う協同的な造形活動を通して達成感（みんなとだからできた）を感じさせる。つくったり、つくりかえたりしている児童の活動を取り上げ、周知する。友達のよさを伝える指導も含めて毎時間行う。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○造形活動への興味・関心は高いが、自分の思いや考えを引き出すことに課題が見られる。</li> <li>○材料・技法・題材に向き合い、自分の感じ方を大切につくりきる活動により主体的な態度を育成する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対話型の鑑賞活動を通して、造形的なよさや美しさを自分なりに感じ取ることや、自分の思いを表現する活動を取り入れ、励まし、自信をもたせる。</li> <li>○最高学年で展覧会に臨むことに児童が期待感をもてるように、主体的に取り組む態度を励ます。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術面・進度など、個人の能力差がある。個々の想いを受け止め、見通しがもてる提案をする等の個別対応が必要である。</li> <li>○単純な表現に留まり活動を終わってしまう児童に対し、意欲を引き出し、励ます活動が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何をどのように表現するのか、ねらいや目的を明確にし、ゴールを自分の判断で決められるようにする。また、今までの経験を振り返り、完成までの見通しをもてる授業を進める。要支援児への対応を用意する。</li> <li>○活動の振り返りを工夫し、題材ごとの学びがなんであったかを自覚させる。（展示・鑑賞・ワークシート）</li> </ul>	